

足立区のお知らせ

足立区千住一丁目50
(882) 1111
編集・発行/足立区役所

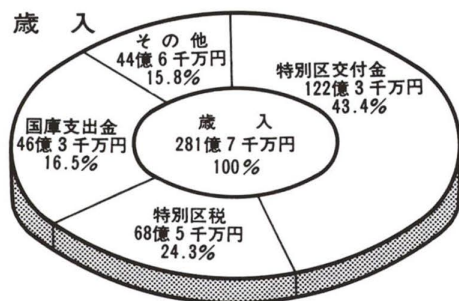
昭和48年度

予算のあらまし

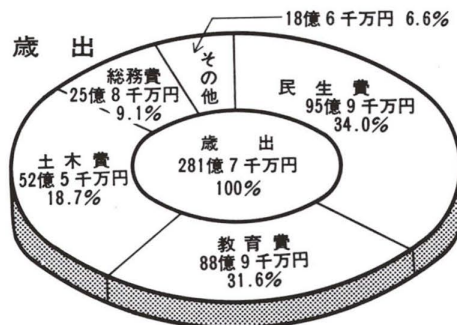
予算総額 332億5,831万円

昭和48年度の足立区予算が決まりました。予算総額は7月現在332億5,831万円で、前年度同期に比べ15.9%増加しています。この予算は、教育施設の建設・整備、保育園の建設、道路の整備、福祉事業の充実、公園の新設・改良など「調和のとれた住みよい足立区」の建設に役立てるために使われます。以下、予算のあらましについてお知らせします。

一般会計



- 特別区交付金 122億 3,401万円
東京都が都と23区および23区相互間の財政上の均衡を図るために交付するもので、区税などの収入がその年度に行なう仕事に必要な費用を下回る区に交付されます。
- 特別区税 68億 4,465万円
内訳は特別区民税50億 9,189万円、軽自動車税 8,541万円、特別区たばこ消費税10億 3,034万円、電気ガス税 6億 3,701万円です。
- 国庫支出金 46億 3,307万円
これは国が使い道を決めて、地方公共団体に負担金、補助金、委託金という名目で支出しているお金です。そのうちおもなものは、養護老人ホーム費、保育所費、生活保護費など民生費負担金の43億 8,267万円、学校給食扶助費など教育費補助金の1億 9,848万円です。
- その他 44億 6,036万円
都支出金、諸収入、自動車取得税交付金などで、都支出金は、国庫支出金とほぼ同じ性質のものです。



48年度に行なうおもな事業を、区の重点目標についてみてみましょう。

健康なまちづくりのために

区民が快適な生活をするためには、まず生活環境が整備されていなければなりません。道路と水路の整備・交通安全対策など生活環境の整備は、区の予算でかなりの割合を占めています。今年度も道路の整備に8億3,549万円、水路の改良に4億3,628万円を計上しました。また、「交通安全宣言区」として交通安全対策に力を入れ、ガードレールの設置・道路反射鏡（カーブミラー）の設置・歩道の新設などに2億1,916万円を予算化しました。「町に緑をとりもどそう」このスローガンで緑化事業を推進している区では、今年度は、8,402万円の予算で公園・学校などの施設を緑化します。この予算には、つつじの苗木の無料配布と、休耕農地に苗木栽培を委託する休耕農地利用の緑化事業費も含まれています。また、公園の

新設改良費として3億2,999万円で新たに8か所の公園を造成する予定です。さらに、堤北地区の公共下水道整備を促進するため、都の委託により、綾瀬一丁目、梅島一・二丁目地域の枝線工事を7億 566万円で実施します。

生活環境の整備とともに、区民を公害や大震災から守るため、公害対策として2,650万円、大震災防災対策として1,825万円を予算化しました。公害対策としては、環境整備資金貸付金として1,000万円、公害測定器材などの購入に580万円などがあります。大震災防災対策としては、防災用パンフレット作成に1,183万円、23区で初めてという防火用と非常時の飲料水用との二目的をもった貯水槽設置のために558万円などがあります。

西新井地区の住民から要望のあった、西新井駅東口設置にともなう広場の造成に5,190万円を計上しました。

青少年の健全育成

明日の社会をになう青少年が、心身ともに健全に育つようにと次の予算を編成しました。

子どもたちが安全に遊べるようにと、新たに24か所の子どもの広場を設けます。この予算が298万円。また、児童遊園の新設改良に1,296万円。さらに、私立幼稚園児保護者負担軽減事業（4・5歳児）に2億6,393万円、公私立幼稚園就園奨励に2,050万円を予算化しました。

社会教育・社会体育関係では、大幅な図書購入を図る（29,487冊；3,165万円）ほか、平野運動場のテニスコートおよび千住新橋第二運動場の造成のため3,460万円を計上しました。また、西新井にある青年館は、集金室・図書室・結婚式場などがあり、多くの青少年団体に利用されています。この青年館を増築するにあたり、地質調査などを行なう必要があるため96万円を予算化しました。

社会福祉の充実

すべての人が毎日を健康で楽しく生活できるようにと福祉の問題には、積極的に取り組んでいます。特に老人

対策には、新しい試みが予算に組まれています。70歳以上の方に年間14枚の無料入浴券を贈るために706万円、生活保護世帯の70歳以上の方に、老人理髪サービス券などを支給するために164万円、65歳以上のねたきり老人の方のために、特殊浴槽のある施設と共同して、送迎バスによる老人巡回入浴事業に448万円など、老人福祉をきめこまに行なっていきます。このほか、児童福祉関係では、保育園児に牛乳・おやつを支給するために1,020万円、保育室の運営委託に1,827万円などがあります。

めぐまれない方への援助としては、2,000万円で生業資金の貸付、900万円で応急小口資金の貸付を行ないます。

重い心身障害者（児）をもつ家庭は、きびしい生活環境におかれています。このため、今年度も昨年度に引き続き、重度心身障害者（児）に見舞品として270万円、心身障害児レクリエーション事業として65万円を予算化しました。

福祉施設の建設関係では、保育の充実を図るために、新たに保育園2園を新築し、1園を改築します。また、千住東地区に老人館（児童館併設）を建設します。

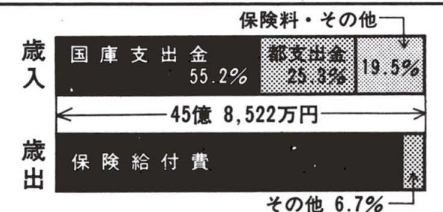
教育施設の充実

児童・生徒を健全に育てる。それにはよい教育環境が必要です。それも適正配置がなされていなければなりません。都心区では、学校の統廃合が考えられていますが、市街化されていない地区に残っている足立区では、今年度も学校を新增改築します。学校施設建設をみてみますと、新增築として、小学校10校83教室7億7,082万円、中学校4校28教室2億4,811万円、改築として、小学校9校73教室6億3,225万円、中学校9校81教室7億154万円もの予算が組まれています。このほか、特別教室・防音装置の設置・体育館、プールの建設など、未来をつくる子どもたちに豊かな教育をと、多額な予算が組まれています。また、長年の懸案だった教育センターも来春オープンすることになり、そのための予算として3億1,611万円を組みました。

特別会計

■国民健康保険特別会計 45億 8,522万円

- 国保に加入している方が対象になっています。
- 歳入 保険料、国からの負担金・補助金、都からの交付金などがおもな歳入となります。
- 歳出 お医者さんにかかった時などに支払う療養給付費、赤ちゃんが生まれた時の助産費（1件10,000円）育児手当、葬祭費（1件5,000円）などの保険給付費がおもなものです。そのほか、無料健康相談や健康家庭の表彰を行なう費用などがあります。



■用地特別会計 5億 100万円

学校・保育園などの公共施設の建設用地を早く、安く確保するための会計です。歳入の内訳は、財産収入4億9,232万円、繰越金768万円、諸収入100万円となっています。